記者発表資料

平成２４年１１月１２日
国　土　交　通　省
延岡河川国道事務所

東九州道（須美江～延岡）開通について
～開通時刻及び開通式典のお知らせ～

国土交通省延岡河川国道事務所が事業を進めている東九州道（須美江～延岡）間は平成２４年１２月１５日に開通する予定ですが、一般車両が通行可能となる時刻及び開通式典についてお知らせします。

１．開通日時　　平成２４年１２月１５日（土）

１５時（一般車両が通行可能となる時刻）

２．開通式典

開通に先立ち、開通式典を開催します。

日時：１２月１５日（土）９時

会場：延岡市天下町（東九州道：延岡JCT・IC本線上）

※式典に引き続き、テープカットを行います。

主催：国土交通省延岡河川国道事務所
宮崎県、延岡市

【参考】　開通区間　須美江IC～北川IC～延岡JCT・IC

延長：約18.4km

須美江IC～北川IC　：　5.6km
北川IC～延岡JCT・IC：12.8km

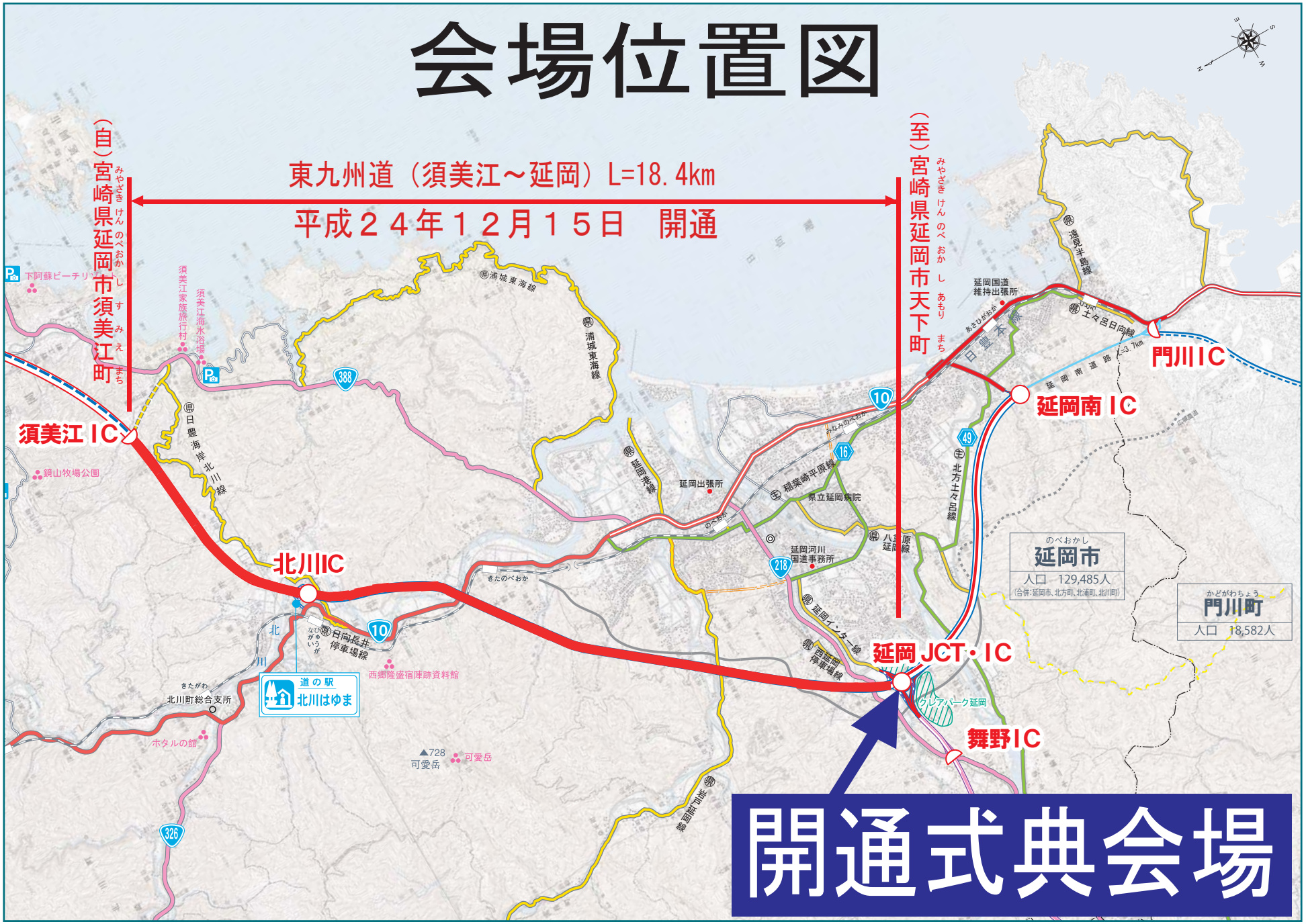
※無料で通行できる自動車専用道路です。

※開通式の取材にあたり、お車でお越し予定の報道関係者の皆様には、後日「駐車場等の利用方法」をご案内します。

お問い合わせは、下記までお願いします。

国土交通省　延岡河川国道事務所　（Tel：0982-31-1155）
工務第二課　建設専門官　　上村　哲也　（内線　４０２）

会場位置図


東九州道（須美江～延岡）L=18.4km
平成２４年１２月１５日　開通
（自）宮崎県延岡市須美江町
（至）宮崎県延岡市天下町
須美江IC
北川IC
延岡JCT・IC
舞野IC
延岡南IC
門川IC
延岡市
人口　129,485人
（合併：延岡市、北方町、北浦町、北川町）
門川町
人口　18,582人
道の駅
北川はゆま
開通式典会場

【参考】　Ｈ２４．１０．２６記者発表資料より抜粋

１．東九州道（須美江～延岡）の概要

今回開通する須美江～延岡間は「東九州自動車道（延長436km）」の一部を形成し、九州東部の広域的な連携、物流の効率化及び地域の発展等を支援、国道10号及び国道388号の代替路線機能を目的とした宮崎県延岡市須美江から宮崎県延岡市天下町の延長18．4kmの自動車専用道路です。

○今回開通区間

東九州道（須美江～延岡）

１）事業着手：須美江～北川　平成１５年度
　　北川～延岡　　平成　６年度

２）総事業費：６９８億円（２車線）

３）延　　長：　Ｌ＝１８．４ｋｍ

４）区間　自：宮崎県延岡市須美江町
　　～　至：宮崎県延岡市天下町

５）車線数　：暫定２車線
　　※完成計画は４車線ですが、
　　今回、暫定的に２車線で
　　開通させるものです。

※ 位置等の詳細は、次ページを参照してください。

有料区間　無料区間　佐伯～蒲江　L=20.4km　蒲江～北川　L=26.2km　北川～延岡南　L=20.6km　無料区間　有料区間

須美江～延岡　L=18.4km

平成２４年１２月１５日　開通

(自)大分県佐伯市上岡

(至)宮崎県延岡市伊形町

佐伯～佐伯南 L=5.1km　平成２８年度開通予定

佐伯南～蒲江　L=15.3km　平成２８年度開通予定

蒲江～北浦　L=14.2km

蒲江～蒲江波当津　L=8.8km

蒲江波当津～北浦　L=5.4km

平成２４年度開通予定

北浦～須美江L=6.4km　平成２８年度開通予定

2工区　L=7.8km　平成17年4月23日供用

大分県佐伯市　蒲江大字森崎浦

佐伯市　人口　78,314人

延岡市　人口　129,485人

門川町　人口　18,582人

佐伯河川国道事務所管轄

延岡河川国道事務所管轄

大分県

宮崎県

佐伯IC　佐伯南IC　蒲江IC　蒲江波当津IC　北浦IC　須美江IC　北川IC　延岡JCT・IC　延岡南IC　門川IC　舞野IC

道の駅かまえ　道の駅北浦　道の駅北川はゆま　道の駅やよい

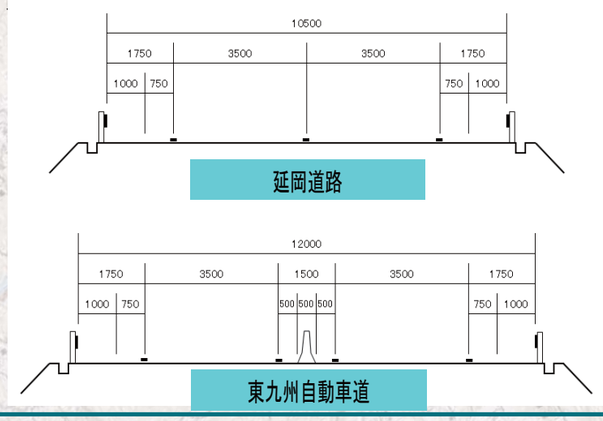
上岡トンネル L=516.0m　佐伯トンネル L=1561.0m　番匠川橋 L=539.0m　元越大橋 L=376.0m　長谷橋 L=203.0m　岸河内橋 L=40.5m　大越川橋 L=195.0m　大越トンネル L=1221.0m　青山橋 L=445.0m　谷川トンネル L=261.0m　谷川橋 L=49.5m　山口橋 L=45.0m　山口第二トンネル L=1056.0m　山口第一トンネル L=341.0m　三軒屋トンネル L=1047.0m　三軒屋橋 L=155.0m　下孫四郎トンネル L=302.0m　蒲江トンネル L=2819.0m　津江川橋 L=32.0m　森崎トンネル L=1202.0m　芹川橋 L=34.0m　丸市尾トンネル L=334.0m　江川第一橋 L=25.0m　江川第二橋 L=34.5m　浦之迫トンネル L=1667.0m　波当津橋 L=45.5m　葛原トンネル L=2778.0m　大内川橋 L=38.0m　陣ヶ峰トンネル L=2751.0m　北浦高架橋（上り）L=32.0m（下り）L=30.5m　北浦トンネル L=2417.0m　熊野江川橋 L=38.0m　熊野江第一トンネル L=832.0m　熊野江第二トンネル L=1084.0m　須美江トンネル L=1297.0m　本谷橋 L=82.0m　家田小麦山トンネル L=495.0m　家田トンネル L=199.0m　うつぎ橋 L=172.0m　大門橋 L=174.0m　きたがわ大橋 L=661.5m　はゆま大橋 L=594.0m　北川トンネル L=630.0m　的野トンネル L=479.0m　須佐トンネル L=245.0m　すさ大橋 L=452.0m　桜ケ丘トンネル L=1141.0m　蛇谷川橋 L=23.0m　祝子トンネル L=1925.0m　祝子川橋 L=129.0m　新宇和田トンネル L=1504.0m　差木野トンネル L=934.0m　大峡トンネル L=704.0m　大峡谷川橋 L=55.0m　小峯高架橋 L=304.0m　小峯天下高架橋 L=379.0m　延岡若あゆ大橋 L=735.0m　石田トンネル L=397.0m　屋敷内第二トンネル L=322.0m　屋敷内第一トンネル L=79.0m　寺畑谷第二トンネル L=633.0m　寺畑谷第一トンネル L=676.0m　小野橋 L=227.0m　寺畑谷橋 L=57.0m

※佐伯市人口は、平成24年5月末現在（佐伯市HPより）
※延岡市人口は、平成24年6月1日現在（延岡市HPより）
※交通量は、平成22年度道路交通量による。

凡例

（4車）（暫定2車）	国土開発幹線自動車道等（新直轄方式による整備）		県界
（暫定2車）	国土開発幹線自動車道等（会社による整備）		市町村界
	国道（直轄管理区間）暫定２車事業 中		鉄道
（4車）（2車）	国道（国管理）		交通量
（4車）（2車）	国道（県管理）		道の駅
	主要地方道		とるば
	一般県道		

標準断面図



名称	延長(m)
陣ヶ峰トンネル	2,751
北浦高架橋	31
北浦トンネル	2,417
熊野江川橋	38
熊野江第一トンネル	832
熊野江第二トンネル	1,084
須美江トンネル	1,297
本谷橋	82
家田小麦山トンネル	495
家田トンネル	199
うつぎ橋	172
大門橋	174
きたがわ大橋	662

名称	延長(m)
はゆま大橋	594
北川トンネル	630
的野トンネル	479
須佐トンネル	245
すさ大橋	452
差木野トンネル	934
大峡トンネル	704
大峡谷川橋	55
小峯高架橋	304
小峯天下高架橋	379

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1の地形図を複製したものである。（承認番号 平20九複、第107号）」

2. 今回開通区間の主な整備効果

○所要時間の短縮と定時性の確保

今回の開通により旧北浦町と門川町間の所要時間が短縮するとともに定時性の確保が図られます。

【所要時間短縮】

約50分→約40分（約10分短縮）

北浦町総合支所～門川町役場

	主な経路
開通前	国道 388 号→国道 10 号→東九州道（延岡南 IC～門川 IC）→国道 10 号
開通後	国道 388 号→東九州道（須美江 IC～門川 IC）→国道 10 号

○これにより国道10号延岡市街地中心部の交通が東九州道に転換することによる交通混雑の緩和と交通事故の減少が図られるとともに、以下の様々な効果が期待されます。

【効果1】物流の効率化

○ 重要港湾である細島港から各地域への輸送コストの削減が図られるなど物流の効率化が期待されます。

【効果2】観光産業への支援

○ 日豊海岸国定公園沿線は、美しい自然等に恵まれ、多数の観光資源が存在します。今回の開通により周遊観光エリアが拡大し、外客数の増加が期待されます。

【効果3】救急医療活動の支援

○ 第三次救急医療施設である県立延岡病院などへの搬送時間の短縮や走行性の向上が図られることにより救命率の向上が期待されるなど救急医療活動を支援します。

【効果4】災害時等におけるネットワークの確保

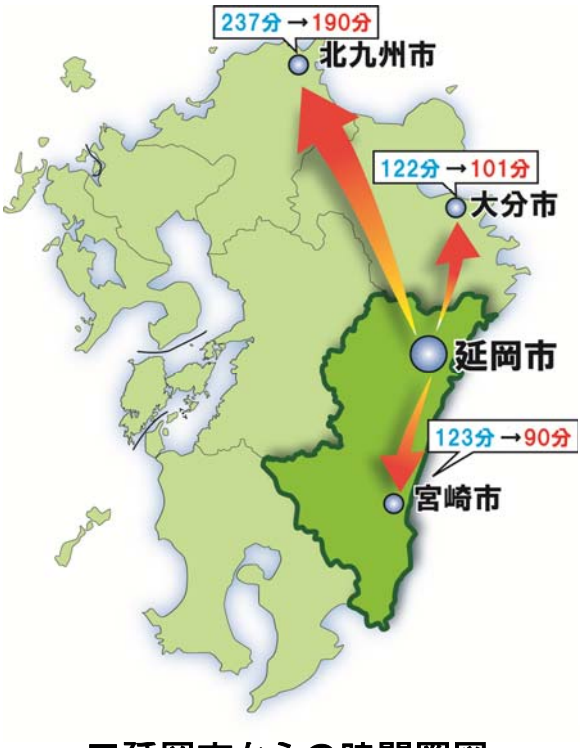
○災害や事故の発生時に国道10号や388号の代替路として機能するなど、緊急時のネットワークの確保が図られます。

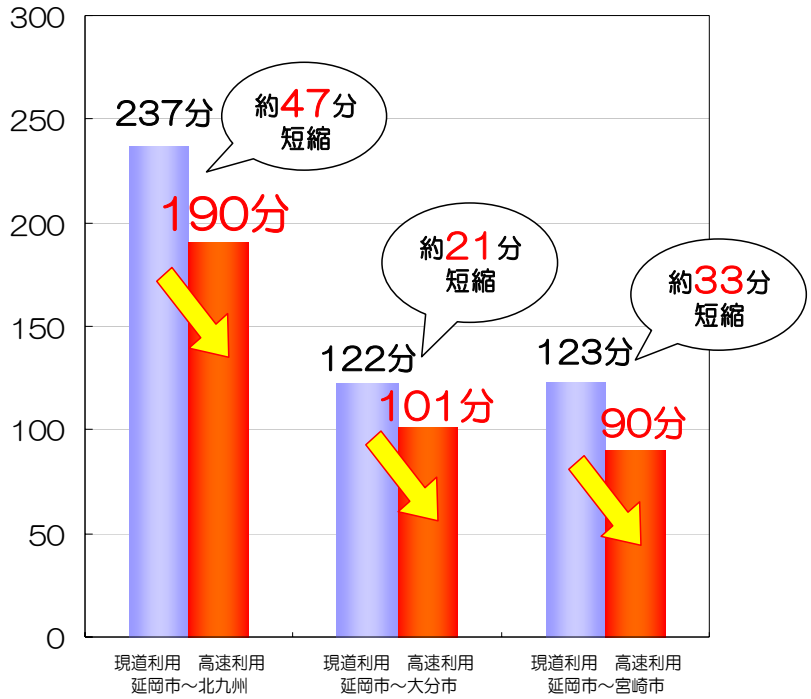
【参考資料】東九州道全体の整備効果

東九州道は九州東部の交通の骨格として広域ネットワークを形成し、
物流の効率化・観光産業活性化など東九州地区の発展を支援します。

○所要時間の短縮

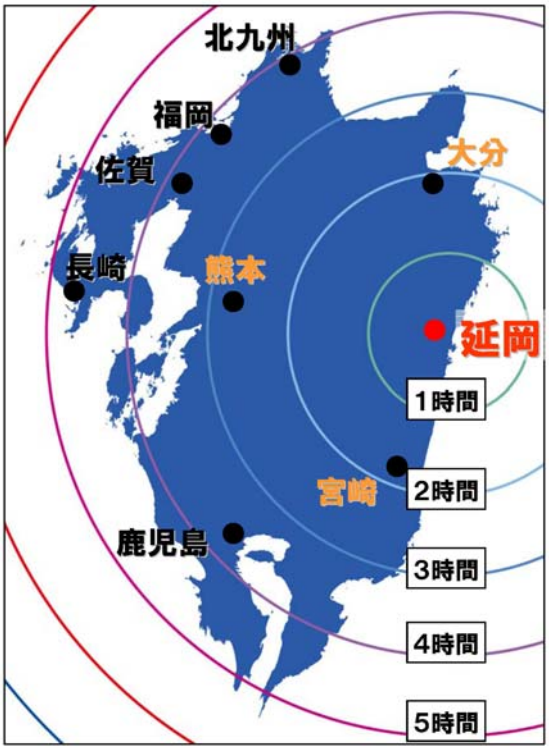
延岡市を中心に北九州市（約 47 分）、大分市（約 21 分）、宮崎市（約 33 分）の所要時間短縮が図られます。

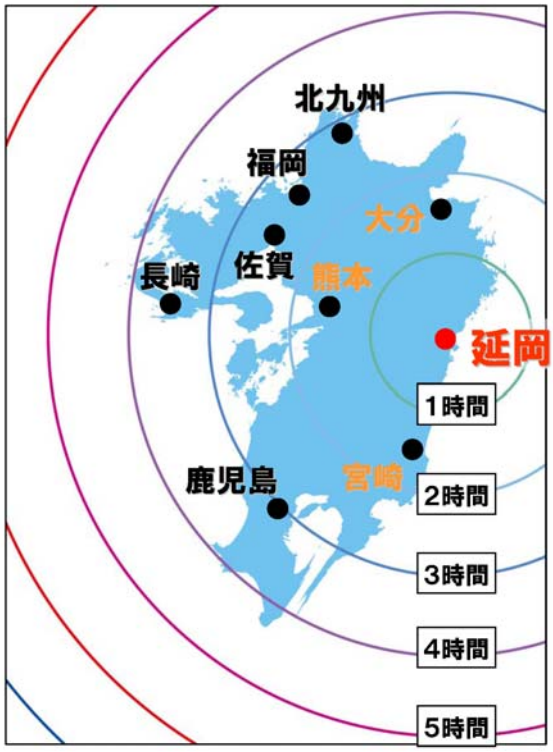




※一般道路については、H22 道路交通センサス

■延岡市からの時間圏図



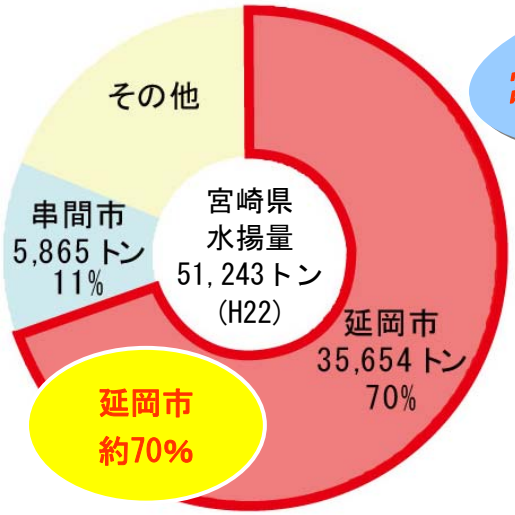


現況：平成24年現在 （速度はH22道路交通センサスより）

主な整備効果例

1. 水産業の振興

○延岡市は県内１位の水揚を誇り、県全体の約7割を占めています。
○輸送時間の短縮により**輸送コスト削減、販路拡大が期待**されます。
○**鮮度保持**により商品価値が向上することによる**水産業の振興を支援**します。

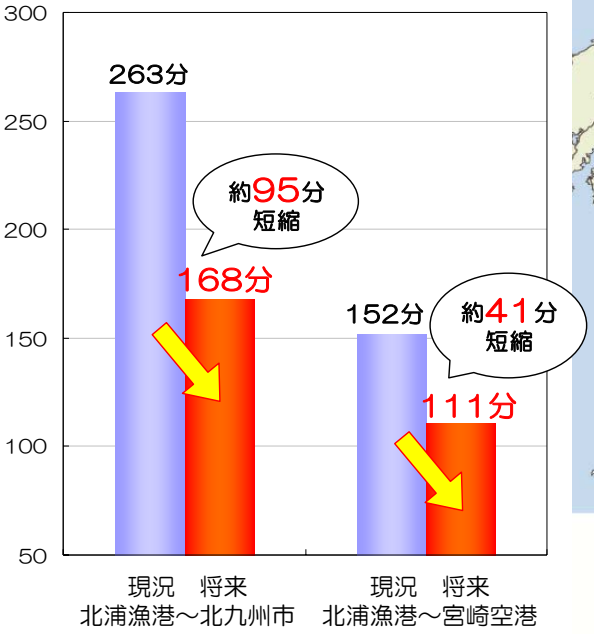


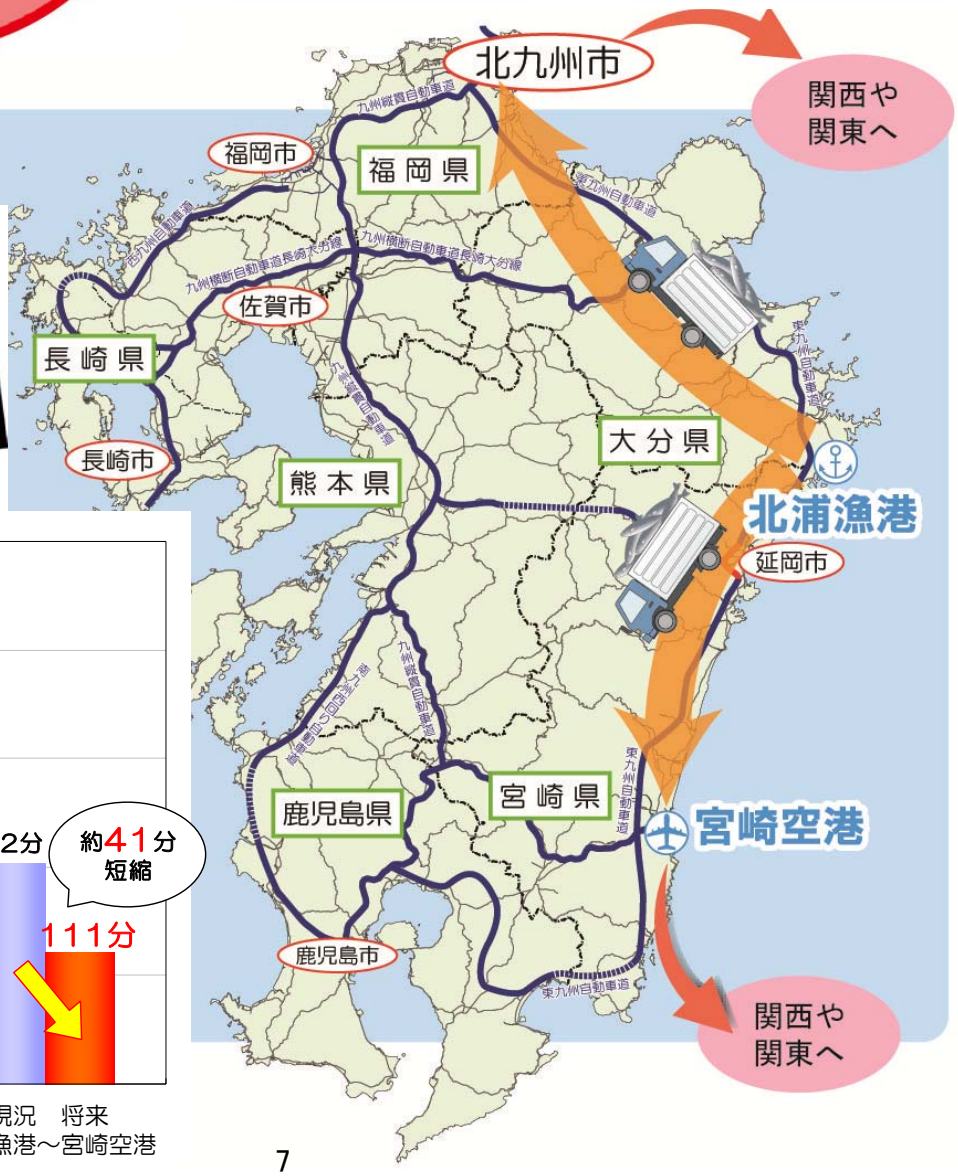
2005.3
宮崎県水産物ブランド認証を受賞

【ひむか本サバ】

2003.1
宮崎県水産物ブランド認証を受賞

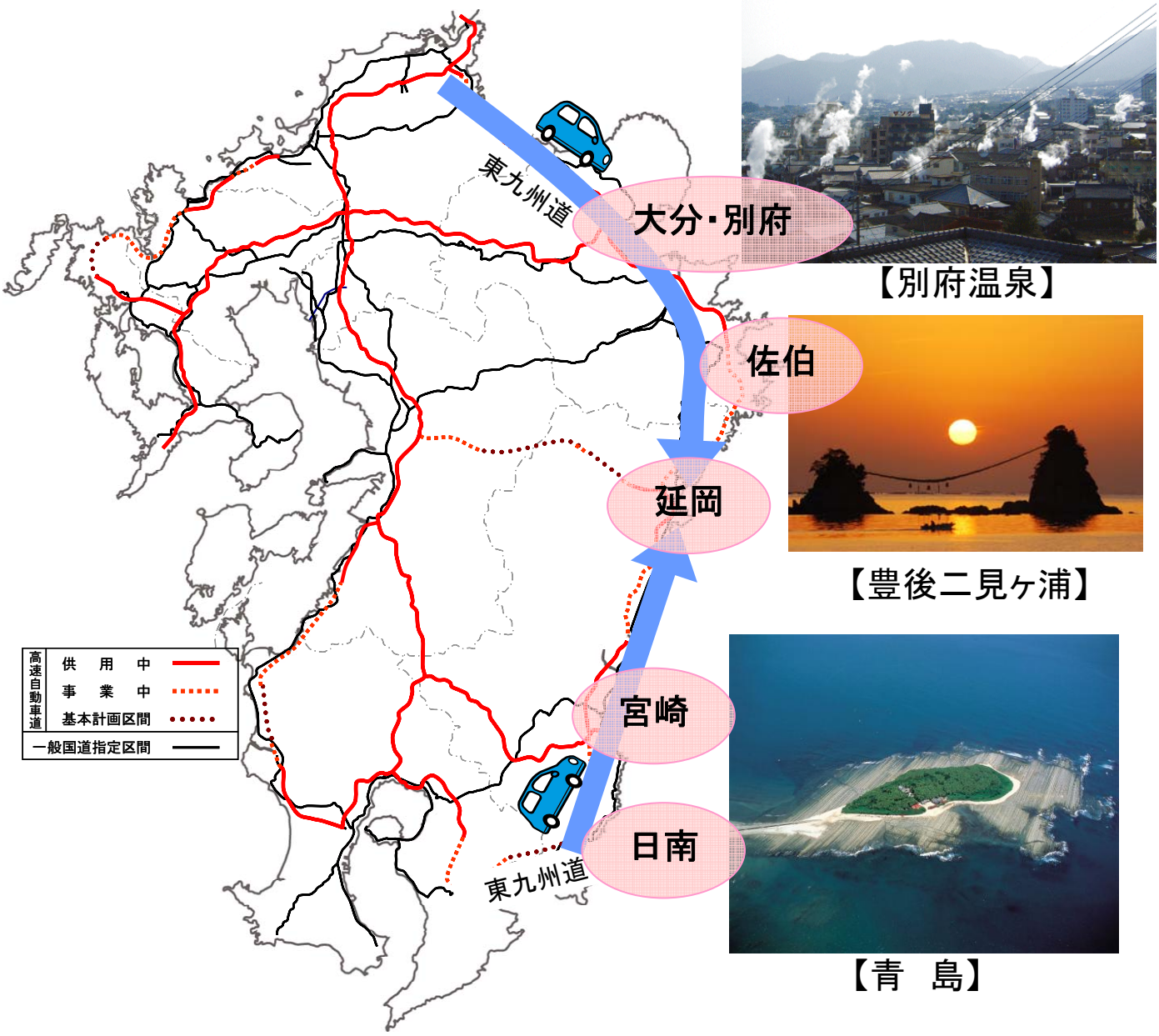
【北浦灘あじ】





2. 観光産業活性化を支援

○広域観光ルートの形成により、**観光周遊性の向上**が図られます。



【別府温泉】

【豊後二見ヶ浦】

【青　島】

【都井岬】